

令和6年度 全国高校総体（インターハイ）ソフトテニス競技大会
全日本高等学校ソフトテニス選手権大会 茨城県代表選手の活躍について

茨城県高体連ソフトテニス専門部

標記大会において、7/30（水）～7/31（木）に長崎県長崎市ベネックス総合運動公園かきどまり庭球場にて実施された男子個人の部で、霞ヶ浦高校の一ノ宮大和・善福留生ペアが、第2位に入賞しました。

本県勢としては、平成2年（1990年）の仙台インターハイ以来33年ぶりのインターハイ個人戦ベスト8入賞（第3位：中山・栗原ペア、土浦日大高）となりました。また、県勢初の決勝戦進出となり、惜しくも敗れましたが素晴らしい成績を収めてくれました。

現在の高校男子界では、全国の強豪校の壁を破ることが難しく、ここ数年は個人戦ベスト32が最高である状況が続いていましたが、本県高校生プレーヤーは元より、県内小中学生にも夢と希望を与えてくれる結果となりました。

選手のお二人、監督の先生、霞ヶ浦高校の生徒、保護者の皆様含め関係の方々、本当におめでとうございます。そして、本県ソフトテニス界にとって励みになる活躍をされました。ありがとうございました。



一ノ宮選手（神栖ジュニア⇒神栖四中）、善福選手（水戸スポ少⇒水戸五中）と藤岡監督